

【概況】 7 月 15 日に行ったプランクトン調査(燧灘)の結果についてお知らせします。

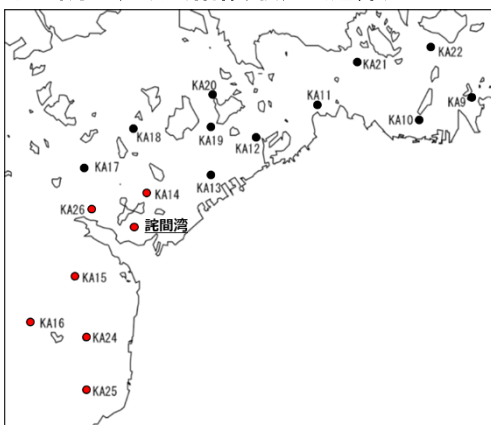
- ・魚毒性を示す有害プランクトン、シャットネラ属の出現が確認されました。細胞密度は燧灘南部で高い傾向にありますので今後の情報にご注意ください。
- ・小型珪藻類は低密度でした。

表：2022 年 7 月 15 日有害プランクトン調査結果（海水 1 ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・マリーナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ 3 種合計値	カレニア・ミキモトイ	ココロディニウム・ポリクリコイデス	シュードシャットネラ・ベルキュローサ	アレキサンドリウム属
KA14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
KA15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
KA16	0	4.7	3.7	0	8.4	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
KA24	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0.7	1.3	0	2.0	0	0	0	0
KA25	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0.3	0.3	0	0.6	0	0	0	0
KA26	0	0.3	0	0	0.3	0	0	0	0
	10	0.3	1.3	0	1.6	0	0	0	0
詫間湾	0	0.7	0.3	0	1.0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0

\* シャットネラ属、カレニア・ミキモトイ、ココロディニウム・ポリクリコイデスの細胞密度は 3 回計数した平均値を記載しています。

図：調査定点(備讃瀬戸・燧灘)



【参考】香川県の有害プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
ココロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL

\* 赤潮定期調査(燧灘)は合計 7 定点 (KA14、15、16、24~26、詫間湾)で行っています。

【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471